



関西いのちの電話



サルスベリの花と夏の空



メシアになりたくて

関西いのちの電話 運営委員長

実習生時代のスーパービジョンでは「我慢しきれなくなっても思わずしゃべったわね。」と笑われ、認定1年目では「こんな話は5分で終わる。」と鼻をへし折られ、それでも当時の私はメシアになりたくて、自宅からセンターまで「待ってろよ。今から助けに行くぞ。」と張り切って通ったものでした。

当たり前ですがそんな私がメシアになれるはずもなく、かけ手の方々から「相づちしかできへんのか。」「繰り返しばかりするな。」「俺の言って欲しい事を言え。」「あなたの話なんか聞きたくない、私の話を聴いて。」等々。あの頃の私はそれでも精一杯でしたから、無理難題と感じ、途方に暮れる時もありました。そんな時に談話室で先輩から励まされ、同期会でお互いの非力を慰めあい、また研修グループでの学びや気づき、委員会や声のぬくもりの課外活動を通しバランスが取れたお陰で今日まで何とかやってきました。

そうやってもがくうちに、いつしかメシア願望は消え去り、電話を聴きながら私が感じているこのズドンとしたお腹の重さ、ドキドキする切迫感、何とも言えない気だるさ、頭がボーとする疲弊感等は、電話の向こうのかけ手の方々が感じている事なのではと思えた時に「実は…。」と話される場合もある気がします。

あの頃の(今でも?)非力な私でも、先ほどの電話は深い話ができたとか、懸命に生きているかけ手の姿勢に逆に元気を貰えた時もあります。今から思えばどこか長閑な牧歌的な時代から、段々難しい電話が増えてきた感が否めません。時には罵倒するだけが目的の電話ではと疑いたくなる場合すらあり、何のために電話相談しているんだらうなあ、とつぶやいて天を仰ぐこともあります。

社会には自分第一主義がはびこり、現代はある意味新自由主義の完成態だからと一人合点し、自己責任という言葉で人を物として捉えコストでしか考えない世の中では、余裕も無くなり、ヒステリックにもなるわなあと言いつつ聞かせたとしても、ころが折れそうになる時が正直あります。

そんな時代の流れに私たち関西いのちの電話も影響を受けないはずもなく、何とか踏みとどめたいとの思いもこめて努力しています。急がば廻れ。原点に帰り、相談活動の質を高めることこそ第一義と考えます。皆さまにはぜひ関心をお寄せいただきチャリティコンサートや公開講座へのご参加「資金援助ボランティア」にもお力添えをお願いします。

関西いのちの電話 相談電話 (24時間365日) ☎06-6772-1121

自殺予防いのちの電話 毎日(日・祝含む) 16:00~21:00 毎月10日 午前8:00 ~ 翌日午前8:00 ☎0120-783-556

こころを病む人々の声に耳を傾けて…

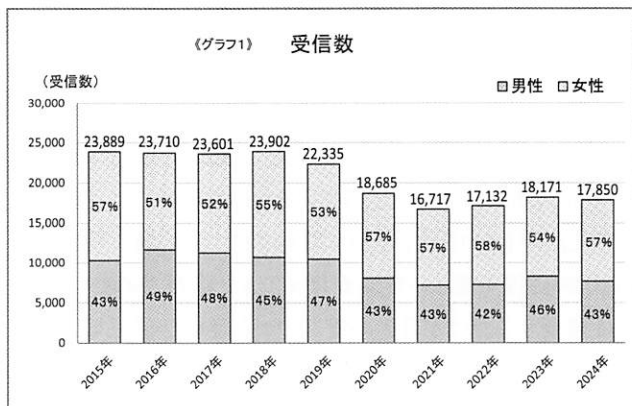
関西いのちの電話 記録分析委員会

2024年の電話相談から見えてくるもの

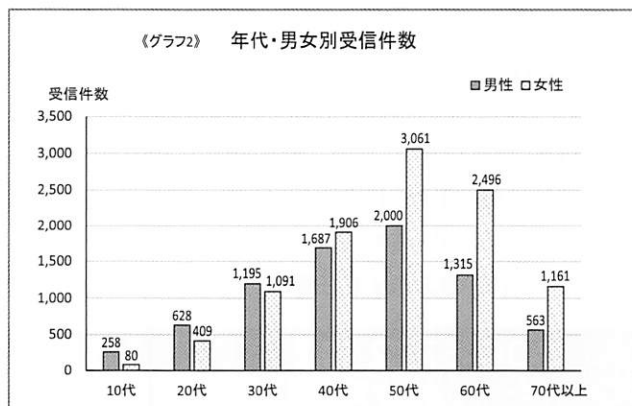
関西いのちの電話では、毎年、1年間の受信状況について記録分析委員会が統計的分析と相談内容から読み取った傾向について報告をまとめています。

2024年全体を通して

2024年1年間の総受信件数は17,850件。《グラフ1》7年前までは23,000件前後で推移していましたが、コロナの感染拡大もあり、2020年から減少傾向となりました。その後相談員の活動も徐々に以前の状態に戻り、2022年、2023年は受信数も増加傾向にありました。しかし2024年は受信数が減少しました。その一因に、「関西いのちの電話」の課題である相談員の高齢化等による相談員の減少が考えられます。実際、2019/20/21/22/23/24年の月平均担当相談員数は490人/411人/377人/404人/419人/401人となり、受信件数と相談員数は相関関係にあります。



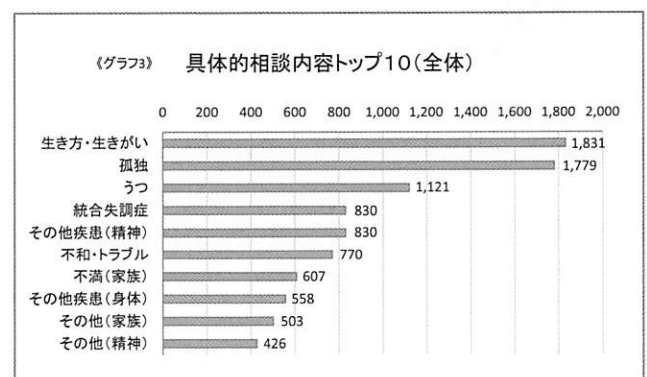
かけ手の男女比では、男性が全体の43%、女性が57%です。また、心の病を持っていると思われる人からの受信件数は10,813件で総受信件数の60.6%でした。



年代・男女別で受信件数を見ると《グラフ2》、男性は50代が最も多く、次に40代、30代と続きます。これらの「働き盛り」の年代では、精神を患うなどして働けないことで自己否定する方や、将来への不安を感じる方も多くいました。

女性も50代が最も多く、次に60代、40代と続きます。50代の女性では、子どもの巣立ちから起こる喪失感、退職した夫との会話のない生活、親の介護などの家族関係の変化、そして更年期を迎えるなど、生活や身体が変化していく時期であり、不安や孤独を感じる年代なのかもしれません。

《グラフ3》は、具体的な相談内容の上位10位までをグラフに表しました。最も多いのが「生きがい・生き方」を語る者で

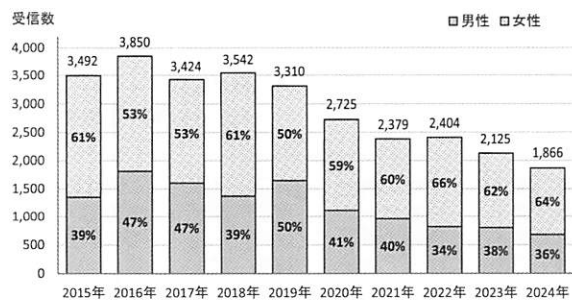


1,831件、総受信件数の10.3%で、『何のために生きているのだろう』と苦しんでいました。次に多いのは「孤独」を訴える者で1,779件10.0%です。「孤独」を訴える方は、コロナ禍増加傾向にありましたが、2023年より減少しています。('17年6.5%、'21年11.0%、'22年11.7%、'23年10.0%)。次に多いのは精神疾患である「うつ」1,121件、「統合失調症」830件、「その他の精神疾患」830件で、それらを合計すると2,781件15.6%でした。

自殺を訴える電話相談

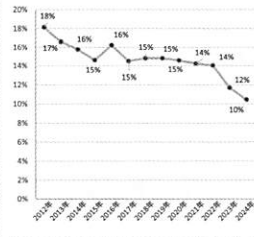
自殺を訴える相談電話(以後「自殺傾向」と記す)の受信件数は1,866件で、年々減少傾向(2015年は3,492件)にあり

《グラフ4》 自殺傾向受信件数

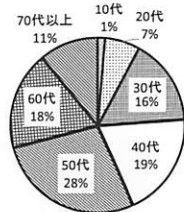


ます《グラフ4》。また、総受信件数における自殺傾向の割合は10%で、これも年々減少傾向にあります《グラフ5》。男女の割合は、男性36%、女性64%と、女性からの訴えが多いです。「自殺傾向」相談電話の年代別《グラフ6》では、50代が最も多く515件(28%)で、次に40代が363件(19%)、60代が338件(18%)という順で、40代・50代・60代が約65%を占めています。

《グラフ5》 自殺傾向割合

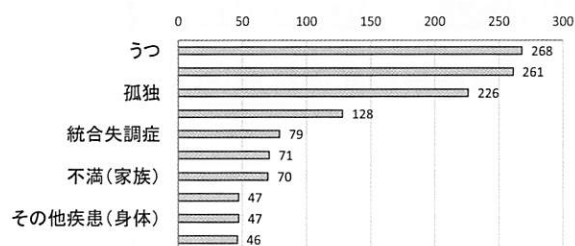


《グラフ6》 自殺傾向の年代別分布



相談内容《グラフ7》では「うつ」が最も多く268件(14.4%)でした。「うつ」を含む精神疾患(うつ・統合失調症・その他精神疾患など)は25.5%で、自殺傾向の相談内容の4分の1を精神疾患が占めています。次に多いのが「生き方・生きがい」で261件(14.0%)、次が「孤独」で226件(12.1%)でした。心を病み、世の中に生き辛さを感じ、孤独に苦しんでいるかけ手の姿が浮かびます。

《グラフ7》 具体的相談内容TOP10(自殺傾向)



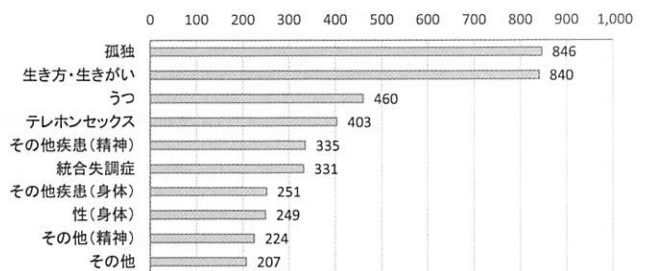
「自殺傾向」緊急度の内訳は、自殺をほのめかす「念慮」が1,677件(89%)、自殺をしそうな「危険」が131件(7%)、自殺の「予告や通告」が48件(3%)で、ほとんどの人が「念慮」

慮」ですが、今まさに自殺をしようとしている人からの緊急度の高い「実行中」の電話も10件(1%)ありました。「実行中」10件の内訳は、男性3件、女性7件で、特に20～30代の女性からの「実行中」の電話が多く、若い女性が生き辛さを感じていました。

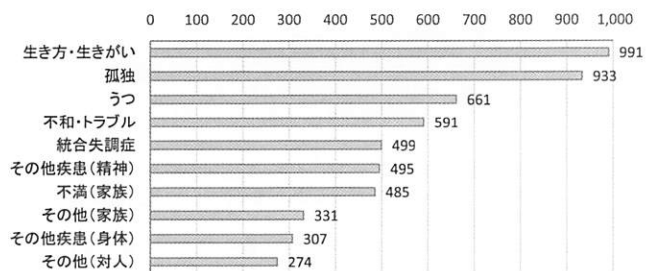
性に関する相談電話

《グラフ3》の具体的な相談内容(全体)を男女別に表してみました《グラフ8》。男性の相談内容の上位は「孤独」「生き方・生きがい」「うつ」で、次いで「性」です。

《グラフ8-1》 具体的な相談内容TOP10(男性)



《グラフ8-2》 具体的な相談内容TOP10(女性)



「性」に関する相談は、多岐に渡ります。真剣な「性」についての相談がある一方で、私たち相談員が掛け手にしっかり寄り添いたいと受話器を取り、耳を傾けていたにもかかわらず、相談が進むにつれ、いつの間にか興味本位の「性」の話になり、裏切られた思いを抱き、何とも言えない後味の悪さやむなしさを感じ、電話を終えるものもあります。このような性的欲求で掛けてくる人も、その心の底には孤独感や不安感を抱え、空虚な人間関係に苦しんでいることが窺えますが、その関心は「性」の欲求充足だけに向けられているため、いくら相談員が努力しても、容易にその奥にある心理的問題に話題を戻すことはできません。そこで「電話を切る」こともやむを得なく思っています。

ただただ聴くことしかできない私たちですが、かけ手の声に耳を傾け、思いや苦しみを感じ、受け取り・寄り添おうと24時間、365日、電話相談活動を続けています。

あたたかいご支援ありがとうございます

2025年3月～2025年5月までに、次の方々から社会福祉法人関西いのちの電話への寄付を頂きました。

心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。

(五十音順 敬称略)

【個人】	櫻本 貴夫	河内 俊之	杉浦真喜子	筒井 健太	中村 勝吾	藤田 久子	ミヤザキヒロシ
	大坂 雅巳	左藤 章	隅田 保	妻鹿 泰子	中村サトミ	堀口 節子	吉野徳一郎
浅野 敏行	大津 久直	幣原 直子	竹村 武男	道免 逸子	西村 博子	牧口 望	吉元 弘
有田久美子	小川 弘二	菅 順子	田中 信子	中野 爲夫	野崎 京子	真鳥 理美	渡辺 信
晴地 道俊	北之坊皓司	菅谷 道子	ツジセイスケ	中野 桂子	林 竜弘	水中 照子	匿名 3名

【団体】	サントリーホールディングス株式会社 秘書室	東豊中聖ミカエル教会
江崎グリコ株式会社	ショファイユの幼きイエズス修道会 大阪信愛修道院	姫路聖マリア病院
大阪Ⅱソニータクソール会長 尼木純子	親切会 関西支部	融通念佛宗 法蔵寺
(社福) 大阪自彊館 職員一同	直の会	溝口医院
カトリック真面教会	日本キリスト教会 香里園教会	匿名 1社
恵みのマリア募金 香里ヌヴェール学院 中高生徒職員	日本基督教団 千里丘教会	
	池田バプテスト教会	

◎他に相談員・理事・評議員・有志などが支えています。

社会福祉法人 関西いのちの電話 第29回チャリティーコンサート 鈴木孝紀トリオ jazzコンサート with 菅マナミ

私たちの活動を広く広報すると共に、組織を支えるための運動資金を皆様にご協力いただくことを目的としたコンサートです。心温まるコンサートに皆様どうぞご参加ください。

日時：2025年9月27日(土) 開演14:00(開場13:30)

会場：ドーンセンターホール(大阪府立男女共同参画・青少年センター) 大阪市中央区大手前1-3-49

出演：鈴木孝紀トリオ

プロフィール

鈴木孝紀トリオは、クラリネットプレイヤーの鈴木孝紀さんの呼びかけで、ジャズをはじめ様々なジャンルで活躍する愛川 聡(ギター)、荒玉哲郎(コントラバス)の両氏を迎え2015年結成。

編成のシンプルさを感じさせない奥深く響くサウンドと緻密なアンサンブルで、限りなくアコースティックでノブる室内系ジャズの世界を繰り広げ、各方面から好評を得ている。

鈴木孝紀さんは、NHK連続テレビ小説『カムカムエヴリバディ』でバンド役、「プギウギ」でクラリネット&サキソフォン奏者役として出演、音源収録にも参加。

昨年、2024年度にわがジャズ大賞を受賞された。

賛助出演：菅マナミ(ヴォーカリスト)

チケット価格：前売 3500円/学生1500円 当日 4000円/学生2000円

前売りチケット事前受付中：関西いのちの電話 事務局にご連絡ください

TEL 06-6795-4860(受付時間 月～金10時～17時)

FAX 06-6795-4861 E-mail jimukyoku@kaindinochi.com



この広報誌は、令和6年12月に実施された大阪府共同募金会の助成を受けて発行しています。府民(寄付者)のみなさまに感謝いたします。

編集後記

いま世界を見渡せば、自国第一主義や保護主義の波が私たちの社会に深い亀裂を生み出し、国内においても価値観の相違からくる分断が顕在化し、他者への不寛容や排除の動きが強まっているように感じられます。SNSを開けば、自分の意見と異なる声への激しい攻撃を目にすることも少なくありません。

このような時代だからこそ、私自身活動する中で、電話相談活動の重要性を日々痛感しています。かけ手の言葉の奥にある感情に寄り添い、たとえ意見が異なっても、その方の存在をまるごと受け止めるよう努力していくつもりです。私たちの取組が、この分断されがちな社会において、人と人との間に橋をかけ、理解と共感を育む小さな一歩となればいいなと願っています。

(Y.S)

電話相談受信状況(2025年)

受信月	3月	4月	5月	6月
受信件数	1,337件	1,183件	1,408件	1,553件
相談員数(延)	350人	299人	345人	373人

社会福祉法人 関西いのちの電話

事務局 〒537-0024 東成鶴橋駅前郵便局留

TEL 06-6795-4860

FAX 06-6795-4861

発行人 李 清 一 編集 広報委員会

ホームページ <https://kaind2.com>

